






	作品	講評
1 黒部川 (低学年)	 <p>「きれいな黒部川」 くろべしりつみっかいち 黒部市立三日市小3年 ふかた のあ 深田 乃愛 さん</p>	<p>特ちょう的な赤い橋をトロッコ電車が走る黒部峡谷を描いています。黒部川はけわしい山と山の間をくぐりぬけるように流れています。川が、山を彩る緑の木々や太陽の光を鏡のように映している様子に心ひかれたのでしょう。木々を緑色の濃淡でいねいに描くことによって、水の透明感が心に残る作品となりました。自然を大事にしたいという気持ちがよく伝わってきます。</p>
2 黒部川 (高学年)	 <p>「夏の黒部川」 くろべしりついで 黒部市立石田小6年 でむら さゆ 出村 小優 さん</p>	<p>北陸新幹線が開通して初めての夏を迎えました。黒部川を走りぬける新幹線はものすごいスピードです。新幹線の迫力に負けないくらいに黒部川の流れるはたいへん早く、水が透き通っているさまが描かれています。立山連峰が美しく青々とした田んぼが印象的な季節、川の水は清らかで冷たいです。川が命のみなもとであることを示しているようです。</p>
3 常願寺川 (低学年)	 <p>「称名の秋」 とやましりつほりかわみなみ 富山市立堀川南小3年 たしろ まさたか 田代 将鷹 さん</p>	<p>赤や黄色のたくさんの色が重なりあう紅葉の季節、称名滝が水しぶきをあげながら流れ落ちる様子が描かれています。青色と白色のぬり方を工夫することで、滝と水しぶきをうまく描きわけています。まるで滝のとどろきがきこえてきそうです。落差日本一をほこる称名滝を華やかに描いています。</p>

	作品	講評
4 常願寺川 (高学年)	 <p>「北陸新幹線と白岩川」 <small>にんげんはのつかがくぶふぞく</small> <small>富山大学人間発達科学部附属小5年</small></p> <p>うえだ たかとも 植田 崇友 さん</p>	<p>水彩絵の具のにじみや色の重なりをうまく使いながら、いきおいよく流れる川を工夫して描いています。白岩川の下流の景色は、北陸新幹線が開通したことで、さらにお気に入りの場所になったのでしょうか。上端を横切って走る北陸新幹線とずっしりとした鉄塔が描いてある効果によって、手前の下流にむかって絶え間なく流れてくる川は、堂々としていてダイナミックです。</p>
5 神通川 (低学年)	 <p>「花火大会の前」 <small>とやましりつながおか</small> <small>富山市立長岡小2年</small></p> <p>つちだ はると 土田 暖大 さん</p>	<p>夏の夕暮れと思ったら、神通川の花火大会の前だったんですね。浴衣姿でこれから始まるぞ、というワクワク感がよく伝わってきます。大橋を渡る電車その上に着陸態勢に入る旅客機が川辺りの広さを感じさせてくれます。</p>
6 神通川 (高学年)	 <p>「神通川とひこうき」 <small>いみずしりつうた もり</small> <small>射水市立歌の森小4年</small></p> <p>ふじなみ ゆう 藤浪 悠羽 さん</p>	<p>鮎釣りの名所として知られる神通川は、河川敷に空港があるめずらしい川でもあります。大きな飛行機が無事に到着しようとする場面でしょうか。綿棒を使って、点をたくさん作って描くという、とても工夫された技法の作品です。川の恩恵をうけている釣り人や飛行機を描いた、ほのぼのとした作品となっています。</p>

	作品	講評
7 庄川 (低学年)	 <p>ごうぐち 「合口ダム」</p> <p>たかおかしりつといでせいぶ 高岡 市立戸出西部小3年</p> <p>かめだ あゆと 亀田 歩杜 さん</p>	<p>思い切り周囲を省いて合口ダムと魚道に注目して描いてあり、水の流れの違いや落差がよくわかります。魚が登ったり降りたりしていたのが見れたかな。</p>
8 庄川 (高学年)	 <p>「屋根つきの橋が ある川 内川」</p> <p>うちかわ</p> <p>たかおかしりつじょうづか 高岡 市立定塚小6年</p> <p>まきの よしたけ 牧野 能武 さん</p>	<p>内川には橋がたくさんかかっています。中でも屋根付の あずまばし 東橋は素敵です。</p> <p>太い線で橋を描き、陰影や色濃淡を塗り分け、水に映る雲や橋と船の影が印象的です。</p>
9 小矢部川 (低学年)	 <p>「とうろう流し」</p> <p>たかおかしりつばくろう 高岡 市立博労小3年</p> <p>すぎもと だん 杉本 弾 さん</p>	<p>千保川ではお盆の8月16日には、約8000個の灯籠が流されるそうです。次々と川に流れてくる灯籠を見ている友達の楽しそうな表情や服の色もそれぞれ異なり、夏の夜の雰囲気が伝わってくるようです。</p>

	作品	講評
10 小矢部川 (高学年)	 <p>「夕暮れの小矢部川 (新しい風景)」</p> <p>おやべしりつおおたに 小矢部市立大谷小4年</p> <p>おおの こう 大野 航 さん</p>	<p>小矢部川に新しい眺めができました。手前の夕暮れの川に観覧車やアウトレットパークの光と影が美しく映っていて、遠くに見える山々とあかね色になろうとする空がよく表現されています。</p>
11 審査員特別賞	 <p>「名水のわき水と松川」</p> <p>とやましりつおくだ 富山市立奥田小5年</p> <p>うえだ たつゆき 上田 達之 さん</p>	<p>いたち川沿いにある石倉町延命地藏尊に、「万病に効く」という水をくみにくる人の姿を描き、水への感謝を表しています。水を大切にする人びとの日常を描くという着眼点がユニークです。車が行きかう道のすぐ横にこんな心温まる場所があるのですね。水彩絵の具を使った軽快な筆使いによって、街中にある水辺のオアシスを的確に表現しています。</p>
12 審査員特別賞	 <p>「きれいな小矢部川」</p> <p>たかおかしりつふくおか 高岡市立福岡小6年</p> <p>どうだ あゆみ 堂田 歩未 さん</p>	<p>小矢部川の新しい眺め、これは夏の日でしょうかパステルで描くふんわりした空気感がよく伝わってきます。白抜きにした観覧車や空と川に映る雲も効果的な仕上がりとなっています。</p>